

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	メディア制作論特論		
英文授業科目名	Topics on Digital Media Production		
開講年度	2004年度	開講年次	
開講学期	後学期	開講コース・課程	博士前期・後期課程
授業の方法		単位数	2
科目区分	電気通信学研究科-人間コミュニケーション学専攻-専門科目		
開講学科・専攻	人間コミュニケーション学専攻		
担当教官名	児玉 幸子		
居室	西6-411		

公開E-Mail	授業関連Webページ
kodama@hc.uec.ac.jp	

<b>【主題および達成目標】</b>
インターネット上のコンテンツや電子機器を組み込んだ玩具，コンピュータによる映像処理など，デジタル技術によってメディアコンテンツの裾野が広がり，新しい制作の方法論が問われている．授業では先行研究を参照しつつそのデザインに対する考え方，可能性，問題点を議論し，議論を下敷きに，実際に各自が制作を行う．

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>

<b>【教科書等】</b>
CG制作，映像編集の複数の技法を用いる．参考書は授業中に指定します．

<b>【授業内容とその進め方】</b>
参加者が，単独あるいはチームを組んで，各々のプロジェクトとしてメディア制作を行う．授業では導入として，SiggraphやArs Electronica等の国際展で発表された近年のメディア芸術作品について解説し，その後，(1)インタラクティブコンテンツの先行研究に関する論文を読む(2)インタラクティブグラフィックス課題制作(3)自らのテーマでコンテンツを企画し，制作を行います．

## 電気通信大学 平成16年度シラバス

<b>【成績評価方法および評価基準】</b>
授業でのレポート発表と課題制作の進行状況に応じて評価する。

<b>【オフィスアワー：授業相談】</b>
水曜 5 限

<b>【学生へのメッセージ】</b>